

# Cabinetmaking

## 家具



### 家具職人たちが日本の伝統的技術に挑む

日本の家具は、床に直接座ることを生活の基本とした収納のための家具作りから始まりました。現在我が国では、椅子・テーブル・チェスト類の西洋家具と日本の伝統的な技術を取り入れた和家具に分類され、時代のニーズに合った木製製品を製作しています。

#### 競技概要

材料は高級感のあるチェリーの無垢材を使い、課題は、天板、帆立、地板、中地板、裏板、脚部、框扉、抽斗で構成されています。天板と帆立の仕口には指物の要素を入れた「留形隠し7枚蟻組接ぎ」、帆立と中地板は「前部剣留め及び2枚ホゾ組片胴付き」、地板と帆立は「前部留及び片胴付き」で接合しています。抽斗の仕口にはそれぞれ割り振りを自由とした「包み蟻形5枚組接ぎ」、「天秤差し」を入れ、選手の腕の見せ所となっております。脚部を含めたこの課題は手加工、機械加工とともに熟練した高い技術力が必要です。



第32回競技課題

前回大会金メダリストからメッセージ!

[所属:清水建設(株)]

新妻 諭さん

家具製作を通じて、  
ともに木工の技を  
磨き、木の魅力を発  
信していきましょう!



#### Point

本体、框扉、抽斗、脚部のうちどの部分から手掛け、どのような手順で製作するかが競技のポイントになります。また、作品の表面を平鉋で仕上げる作業は鉋掛け作業の醍醐味です。機械加工においては、機械の台数や使用制限が設けられ全選手が交代で使用するので作業工程の組み方、進め方が重要になります。

